

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 与野本町小学校



- 1 学校教育目標 **かしこい子 心ゆたかな子
たくましい子 助け合う子**
- 2 開校152年を迎え、歴史と伝統が息づく学校
- 3 本町の心 “ニコニコ しっかり 美しく”



■所在地：さいたま市中央区本町東3-5-23 ■電話：048-852-4444
 ■FAX：048-852-9223 ■交通：JR埼京線与野本町駅徒歩5分

01 ニコニコ



「ニコニコ」という表現は、心がゆたかでやさしさに満ちている様子を表



します。児童会が異学年で交流を行う縦割りの活動に主体的に取り組んでいます。縦割り班を「ニコニコグループ」として毎月のニコニコタイムで交流を深め、2学期には「ニコニコフェスティバル」というイベントに向けて協力して取り組みます。学年や学級においても、日々の様々な活動を通して児童が互いを認め合い、助け合っていくコミュニケーションがごく自然に生まれています。

02 しっかり



視野を広くもち、生涯にわたって学び続ける意欲と態度を育てるために、



主体的で対話的で深い学びの機会を大切にしています。また、歴史と伝統ある本校を取り巻く地域への関心を深め、知識を増やす中で、自分たちを取り巻く人々への感謝と尊敬の思いを大切にします。日頃お世話になっている「見守り隊」を招いての感謝の会、中央消防署や与野図書館などを訪ね、調べたりお話を聞いたりする「地域探検」。そして、本校校舎と一体となった与野郷土資料館を活用しての学習活動など、子どもたちがねらいを明確にもって活動に臨み、学習の成果を高めます。

03 美しく



「美しい」心を育てるために道徳教育を推進し、特別な教科道徳の充実を図ります。授業の様子を学年だよりや校内に掲示し、児童の心の成長を保護者や地域にも発信



します。また、いじめ0を目指し、児童会が中心となって「ニコニコYONOの木」というキャンペーンを考え、毎月のめあて（例えば「思いやりのある言葉遣いをしよう」）を達成させる意識を育てます。何事にも仲間と共に一生懸命取り組み、自分のよさ、目標を成し遂げる達成感、力を合わせることの尊さ、などを実感し、ゆたかな人間性を育みます。そしていじめや差別を決して許さない、誰もが輝ける学校生活にします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立上落合小学校

学校教育目標
あかるく なかよく たくましく
～わくわく登校 笑顔で下校～



■所在地：さいたま市中央区上落合 4-14-24
■TEL：048-852-5381 ■FAX. 048-852-0150
■E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp

- 「あかるく」いきいきと学ぶ子【生涯学び続ける力】(Growth)
- 「なかよく」思いやりのある子【国際社会で活躍できる力】(Global)
- 「たくましく」最後までやり抜く子【真の学力】(Grit)

1 総合の学習から



◇第4学年 総合的な学習の時間にて

総合的な学習の時間「相手の立場に立って」ではバリアフリーについて学習します。

視覚障害の方をお招きし、盲導犬との生活を実演も交え、お話しいただき、子どもたちは一人ひとりが「自分にできることは何だろう」と考えることができました。その後、子どもたちは車椅子・白杖体験をしました。自らが視覚障害者になる体験を通して、目が見えない中で生活する怖さ、不安な気持ちに気づくとともに周りの人の温かさを経験することができました。そして、今までの経験を踏まえ、さらに学習したいテーマを自ら設定し、調べ学習をしました。この学習を通して自分が社会の一員であることを自覚し、自分にできることを考え、今後の生活へ生かせるよう指導しています。

2 道徳の学習から



◇第1学年 道徳科「ハムスターの赤ちゃん」にて

道徳科では、内容項目「生命の尊さ」で命を扱う学習を行います。自分の命、身の回りの生き物や生物を大切にしようとする心をはぐくむことができました。飢餓や貧困で物が食べることができず、命を落としてしまう国々があることに目を向けた国際理解、自然の不思議さや生命力に気づき自然・動植物を大事に守ろうとする意識を高める自然愛護などの各内容項目から SDGs 教育の全 17 の目標に関連付ける道徳教育に日々取り組んでいます。

3 異学年交流から



◇なかよしクリーン作戦

低学年と高学年がペアグループになり、校庭の落ち葉を拾うクリーン作戦を行っています。拾った落ち葉は腐葉土にするために、砂やごみは分けて回収するよう指導しています。高学年はお兄さん・お姉さんとして低学年に優しく接し、低学年はそんな高学年の姿を見て一生懸命に活動しました。異学年との交流を通して、誰にでも思いやりをもって接する心を育てています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
大戸小学校



本校は、開校 151 周年を迎えた、地域に根差した学校です。

【学校教育目標】

- かしこく 自ら考え 正しく判断できる子
- やさしく やさしさと思いやりのある子
- たくましく 健康でたくましい子



■所在地：さいたま市中央区新中里 1-6-28 ■電話：048-831-3796
 ■FAX：048-831-3589 ■交通：JR北浦和駅徒歩 15 分、南与野駅徒歩 12 分

01 児童一人ひとりのよさを生かした指導の充実

安心して通える学校にするために



本校では、すべての児童
が安心して学習に臨めるよ
うにするため、個に応じた



指導方法や支援体制の構築、および校内の環境整備の工夫について

研究しています。具体的にはユニバーサルデザインを取り入れた授業実践と環境整備、また特別支援コーディネーターやスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと担当が適切に連携するための支援体制の構築などが挙げられます。研究を通じて、児童一人ひとりのよさを引き出し、すべての児童が安心して通える学校づくりを目指しています。

02 環境教育の充実

環境問題への関心を高めるために



環境委員会では委員会活
動を通じて、環境にかかわ
るさまざまな問題について



全校児童が考えるきっかけになることをねらい活動しています。具体的には、各クラスに「リサイクル BOX」を設置して、紙をゴミとして捨てるのではなく資源としてリサイクルすることを働きかけています。ペットボトルキャップの回収では、ただ集めるのではなく、ひとつひとつ洗って乾かし、色ごとに分けています。最終的にはワクチンに換えることにつなげたいと願って取り組んでいます。SDGs についてみんなにもっと興味関心をもってもらえるようにと、環境委員自身がさまざまな取り組みを紹介することもしています。

普段の授業においても、社会や理科、家庭科等を通して、環境問題や気候変動について学び「今、自分にできることは何か」を考え、少しずつ行動していこうと指導をしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立

下落合小学校



1 「よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子」の学校教育目標のもと、「一人ひとりが輝き 未来を拓く 下落合小の子どもたち」の育成を目指しています。

2 目指す学校像は、「『安全・安心・信頼』を基盤に、一人ひとりが輝き、思いやりあふれるあたたかい学校」です。

3 昭和29年開校、さいたま新都心に一番近い学校です。



■所在地：さいたま市中央区上落合 1-7-33 ■電話：048-852-2280
■FAX：048-852-0188 ■交通：さいたま新都心駅・北与野駅 徒歩5分

01 質の高い教育をみんなに



保護者、地域社会の信託に応えるため、法令法規及びさいたま市教育委員会の「未来を拓くさいたま教育」



を推進し、学校・保護者・地域社会の相互の信頼・協力関係の上に立った教育を行っています。

また、社会の変化に主体的に対応できる資質・能力を全ての児童に育てるために、基礎・基本の学習を重視し、児童一人ひとりの良さを発揮できる教育を推進しています。

そして、さいたま新都心に一番近い学校として、その立地性やエネルギーを教育活動に生かし、PTA や地域の方々と連携した学校づくりを進めています。

02 住み続けられるまちづくりを



総合的な学習の時間では、毎年、4年生が「みんなにやさしい街に」をテーマにして学習を行っています。

○体験したことをもとに、不自由を感じている人に自分から働きかける力を養う。

○体験活動や調べ学習を通して、自分の生活を振り返り、できることは何かを考える。

○バリアフリーに関心を持ち、意欲的に調べ、活動する。

これらの目標をもち、体験活動を行いながら、誰もが住みやすいまちづくりについて考えています。

さいたま新都心に一番近い学校の立地を生かして、まちづくりにおけるバリアフリーを探したり、「さいたま新都心ふれあいプラザ」で車いすやアイマスクの体験をしたりして学習を深めています。



また、盲導犬ユーザーの方に学校に来ていただき、盲導犬の仕事を実際に見せていただくなど、貴重なお話を伺ったりしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



さいたま市立
与野西北小学校



「みんなでつくる みんなの与野西北小学校」

～「輝く瞳に夢いっぱい」な学校を子ども・家庭・地域と協働・連携してつくります～

児童会スローガン【 せいほく だいすき 】

学校教育目標 「みんなと協力する子」(人権・情操)

《徳育》

「自分の力で考える子」(学力の向上・自主・実践・根気)

《知育》

「心身ともに健康な子」(体力の向上・健康・安全)

《体育》

「人との関わりを大切にする子」(コミュニケーション力の向上) 《響育》

■所在地：さいたま市中央区円阿弥 4-3-7 ■電話：048-853-0109
 ■FAX：048-853-6110 ■交通：JR さいたま新都心駅より 西武バス/国際興業バス 15分
 JR 北与野駅より 西武バス/国際興業バス 13分 JR 大宮駅より 西武バス 20分
 ◆バス停「円阿弥」下車 徒歩 5分◆

01 地域との協働・連携 学校運営協議会への児童の参加

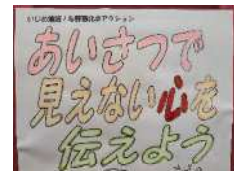


子どもや学校が抱える課題の解決や未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには地域総がかりでの教育の実現が必要です。「地域でどのような子どもたちを育てていくのか。そのために何を実現していくのか」、「地域にどのように貢献できるのか。具体的に何をやるのか」という目標やビジョンをお互いに共有していくことが重要です。学校の主役である子ども達とともに「考え」「議論し」「行動する」ための意見交換をする機会として地域や保護者が参加する、学校運営協議会に児童も参加をしていきます。また、児童が当事者意識をもち自分たちの未来を考えられるよう「SDGs委員会」を立ち上げました。学校と地域が手を取り合って協働・連携による取り組みを進めます。子どもや保護者、地域の理想とするスクール・コミュニティとしての学校「みんなでつくる みんなの与野西北小学校」を子どもたちと実現させていきます。

02 平和で平等な社会の実現



平和で誰でも受け入れられる平等な社会の実現は、世界中の人々にとって豊かで幸せな未来をもたらします。全ての人々の人権を尊



重する社会の実現を目指すSDGsの理念の下、子どもたちが自他の大切さを認めることができるよう、相手の考えや気持ちを想像する力や共感的に理解する力を育てていきます。2030年に成人を迎える高学年の子どもたち。いじめのない社会を築く人材となるべく、まずは、自分たちの身近な学級から考えていきます。いじめや差別・偏見等の撲滅、誰もが安心して生活できる学校にするために、児童会の子どもたちをリーダーとして、1年生から6年生まで子どもたち一人ひとりの人権意識を育みます。授業や話し合い活動、委員会、行事などすべての教育活動を通して子どもたちと取組を進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。

さいたま市立 鈴谷小学校

1 学校教育目標

「かしこく たくましく 心豊かな児童の育成」

2 目指す児童像

「瞳・笑顔・汗・会話 きらきら輝く 鈴谷の子」

○かしこい子 (瞳)

○すなおな子 (笑顔)

○心身ともにたくましい子 (汗)

○つながる子 (会話)



■所在地：さいたま市中央区鈴谷 5-1-1

■電話：048-852-5675

■FAX：048-852-1917

■交通：JR埼京線南与野駅徒歩5分

01 地域とともにある学校づくり



本校では、毎年PTAと後援会が主催する親子奉仕作業を行っています。地域の多くの皆様が参加していただき、樹木の剪定や除草作業による環境整備に努めています。樹木の多くは、開校時に地域から寄贈されたもので、秋になると、1年生がその樹木から落ちたどんぐりを使って、地域の方を特別講師として「どんぐりごまづくり」の学習に取り組んでいます。また、自治会が畑を提供していただき、2年生が芋ほりをしています。令和5年度においても、植え付けから収穫までの一連の流れを体験します。



開校50周年記念事業を機に、郷土史サロンの方を中心に協力いただき、「ふるさと鈴谷学習室」を「鈴小 ちいさな博物館」へとリニューアルしました。以前より置かれていた暮らしの道具や古文書などをジャンルごとに展示し、実物資料を通して昔の暮らしぶりを学ぶことができる場となっています。児童の学習利用はもちろんのこと、今後は郷土史サロンの方による語りのイベントの場としても活用する予定です。



これらの取組を通して、地域とのかかわりや環境美化をテーマにSDGsの目標11「住み続けられるまちづくり」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に寄与していきたいと考えています。

02 豊かなかかわりを通して、質の高い学びを生む学習活動の充実



本校では、総合的な学習の時間やグローバル・スタディ科において、国際教育の視点に立った学習活動を展開しています。5年生では外国の方々と実際に交流をしたり、世界の国々のことについて調べたりしています。おもてなしの心をもって外国の方に自分たちのよさを発信しました。6年生では世界各国と日本を比較しながらさまざまな文化を学ぶことを通して、国際理解について深めています。また、4年生では高齢者疑似体験、障害者スポーツ体験等の活動を通して福祉の考え方を学んでいます。

どの学年においても「豊かなかかわり」を学習の中心に据え、さまざまな立場や考えをもった方々との交流や体験活動を充実させることで、子ども達の学びの質を高めています。実体験を伴った学習により、地域社会や国際社会における多様性や持続可能な社会の在り方について理解を深めることができると考えています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



夢と希望と感動をはぐくみ、子どもが輝く学校

<学校教育目標>

- 自ら学ぶ子 : 目標の実現をめざし、意欲をもって学習に取り組む子
- 思いやりのある子 : 友だちのことを考え、なかよく助け合って生活できる子
- たくましい子 : 元気で健康な生活を送り、進んで体力づくりにはげむ子



■所在地 : さいたま市中央区本町東 5-23-14 ■電話 : 048-854-5561
 ■FAX : 048-854-5560 ■交通 : JR 埼京線北与野駅徒歩 10 分

01 児童の安全な生活と健やかな成長のために



本校では、1年生を対象に外部講師をお招きし、交通安全教室を実施しています。学校の立地が非常に車通りが多い場所であり、その大切さを考えさせながらの学習となります。また、秋



には1週間の給食週間を設定し、全学年で食育を行います。TV放送を活用した給食室の紹介、調理員さんへの手紙、高学年では夢の献立を考える活動を通して、食の大切さやそれに携わる人たちへの感謝の気持ちをもてるようにしたいと考えています。

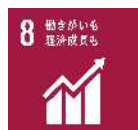
02 児童自身が周りの環境に目を向けるために



本校では、4年生の総合的な学習の時間を通して「みんなにやさしいまち」とはどんなことなのかを考えます。

白杖・車いす体験を通し、子どもたちには、バリアフリーについて学び、考えます。自分ができることはもちろん、私たちの生活の中にある「みんなへのやさしさ」など、今まで目を向けてこなかったことについても考えます。6年生の総合的な学習の時間では、世界遺産について調べます。世界中にある世界遺産について知り、その大切さと素晴らしさを感じられるようにするとともに、人類共通の財産を、どのように大切に、受け継いでいくのかを学習します。

03 児童が主体的に活動に取り組むために



本校では、兄弟学級での活動「なかよし学級」での、異学年交流を通年で行っております。兄学年は弟学年をより楽しませるために、進んで活動に取り組んでいます。



高学年による委員会活動では、活動報告を風の放送を通して行い、活動内容や各取組が全校に伝わるようにしています。美化委員会による掃除点検では、よい掃除をしていたクラスを放送で発表することで、全校で進んできれいな学校を目指し、掃除に取り組めるようにしています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。



さいたま市立
与野南小学校



『笑顔輝く 楽しい学校』 かしこく なかよく たくましく

㊦すから学び ㊦かまと学び ㊦んなで伸びる

「与野南小学校」で学ばせたい」との期待と

信頼に応えられる学校創り

～「凡事徹底」 + 3つのC (Chance・Challenge・Change) = 楽校～



■所在地：さいたま市中央区大戸6丁目2番25号 ■電話：048-831-0157
■FAX：048-831-0122 ■交通：JR南与野駅東口から徒歩約5分

01 「主体的・対話的で深い学び」の実現



学校課題研修では、国語・体育科における「児童の主体的な学びをつくるための授業づくり」を研究主題に、児童が解決したい、考えたい、伝えたいなど、「たい」

のあふれる授業を目指して、研修を推進しています。また、「㊦すから学び ㊦かまと学び ㊦んなで伸びる」を合言葉に、STEAMS TIMES では、「探究的な学び」の充実を図り、実社会で新しい価値を生み出す力の育成に努めています。



02 児童の主体性を生かし、安心・安全な学校をつくる



本校では、児童の主体性を生かした異学年グループによる縦割り活動「全校スマイル集会」「なかよしグループハッピータイム」を通して、思いやりの心を醸成しています。また、

代表委員会が中心となって、あいさつ運動に取り組み、スマイルあいさつキャンペーンとして、誰もが気持ちよく生活できる態度を育成しています。さらに、各学級で話し合い、作成した「いじめゼロの木」、全児童分を掲示した「人権標語コーナー」等で、環境を整備し、安心・安全な学校づくりに努めています。



03 実体験を通して、命の大切さや生物の多様性に気付かせる



校舎裏にある「南小ファーム」では、年間を通して、トマト、なす、ピーマン、とうもろこし、さつま



いも等の野菜を各学年が計画的に栽培しています。種まき、苗植えから育て、生産者の思いに気付いたり、緑豊かな環境について考えたりする活動に取り組んでいます。



みなみん
与野南小マスケットキャラクター